

### 13. 年別・業務上疾病発生状況

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
負傷に起因する疾病		33 (24)	25 (17)	39 (14)	26 (19)	40 (28)	29 (25)	25 (20)	27 (18)	36 (26)	45 (33)
物理的因子による疾病	有害光線による疾病										
	電離放射線による疾病										
	異常気圧下における疾病			1	1						
	異常温度条件による疾病	3 (2)	2 (2)		5 (5)	1 (0)	3 (2)		7 (7)	1 (1)	6 (4)
	騒音による耳の疾病										
	上記以外の原因による疾病										
作業態様に起因する疾病	重激業務による運動器疾患と内臓脱										
	負傷によらない業務上の腰痛										
	振動障害	8	5		1		2	4		6	4
	手指・前腕の障害及び頸肩腕症候群	1		4	1			1			
	上記以外の原因による疾病										
酸素欠乏症											
化学物質による疾病(がんを除く)		3	1		1	5					
じん肺症及びじん肺合併症		9	9	6	4	5	5	6	1	8	9
病原体による疾病				1	2	4				5	
がん	電離放射線によるがん										
	化学物質によるがん										
	上記以外の原因によるがん										
その他業務によることのみ明らか疾患											
合計		57	42	51	41	55	39	36	35	56	64

(注) じん肺、振動病については労災補償課の職業性疾病に関する情報による。その他は労働者死傷病報告による。

負傷に起因する疾病の( )内の数字は負傷に起因する腰痛で内数である。

異常温度条件による疾病の( )内の数字は熱中症によるもので内数である。